

第9期石西礁湖自然再生協議会 新規参加希望者の紹介

区分	お名前・名称	活動内容や石西礁湖自然再生に対する思いなど
個人	阿部 博哉 氏 (国立環境研究所)	国立公園区域における海水温の変化の把握やサンゴ礁生態系の将来予測を行っています。 研究概要は以下の URL に掲載されていますので、どうぞご覧下さい。 https://www.nies.go.jp/researchers/301082.html
個人	菅 浩伸 氏 (九州大学 浅海底フロンティア研究センター)	八重山諸島の海域各地において、サンゴ礁域の海底地形を調査しています。サンゴ礁がもつ特殊な地形および生物群集の保護活動に貢献できるようサンゴ礁に関する学術研究を基にして、八重山のサンゴ礁の学術的価値を発信していきたいと思えます。 1980年代前半の美しい石西礁湖が、私がサンゴ礁研究へ進むきっかけになりました。石西礁湖のサンゴ礁が健全な姿を取り戻すことを願っています。
団体	一般財団法人 西表財団	当財団では観光事業者の認証制度の導入、海中清掃、モニタリングや市域の小中学校での環境学習支援を行っています。 西表島では地域住民が石西礁湖に関する情報を得る機会が少なく、関心も低いと感じます。石西礁湖の重要性を地域にしっかりと伝え、住民や事業者が主体的に守っていけるように、財団としてもしっかり勉強しながら取り組んでいきたいと思えます。

<p>団体</p>	<p>国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点</p>	<p>当センターでは、令和3年度より5カ年のプロジェクトが始まり、そのうち「熱帯島嶼環境保全」プロジェクトでは、陸域の負荷（土壌流出・栄養塩類の流出）を削減する農業の技術開発に取り組んでいます。また、石垣市と共催で研究成果を広報するセミナーも開催しています。</p> <p>国際農林水産業研究センターは農業生産性と環境保全を両立させる技術開発を目指しています。本センターの活動を少しでも貢献できれば幸いです。</p>
<p>団体</p>	<p>東海大学 沖縄地域研究センター</p>	<p>現在、当センターでは、防災科学技術研究所と共同研究で西表島網取湾のサンゴ礁の調査に取り組んでいます。</p> <p>今後の取組として、学校教育に向けた「学習指導要領に通ずる海洋教育と環境教育」の出張授業実施や保護、保全に関する自然再生事業への参加協力を考えています。</p> <p>八重山列島におけるサンゴ礁の全ては、地域のみならず本国を代表する自然の宝庫です。1700万年以上の時を経て育まれた八重山の自然は、現在、地域産業の要を果たし、人々の暮らしと文化を支え、関わる人の心を豊かにしています。持続可能な地域社会の活動には、これまでと変わらない自然の豊かさと生命の営みが欠かせません。</p> <p>未来を見据え、長いスパンで自然を再生し共存(バランス)を図るには、目前の方策と併行して、海洋の魅力と重要性に関する普及活動と人材育成が海洋立国に生きる私たちの使命と考えています。</p>